



平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月2日

上場会社名 ダイコク電機株式会社

上場取引所 東 名

コード番号 6430 URL <http://www.daikoku.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 栢森 雅勝

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務セクタ長 (氏名) 丹羽 時重

TEL 0568-88-7111

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日

配当支払開始予定日

平成22年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	16,510	△44.0	612	△84.6	682	△83.6	241	△89.4
22年3月期第2四半期	29,473	45.8	3,988	151.9	4,156	150.5	2,272	211.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	16.31	—
22年3月期第2四半期	153.75	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	45,049	26,727	59.2	1,805.02
22年3月期	49,641	27,380	55.1	1,848.74

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 26,684百万円 22年3月期 27,331百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	10.00	—	60.00	70.00
23年3月期	—	10.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	30.00	40.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,000	△11.3	2,900	△37.3	3,000	△38.8	1,200	△48.9	81.17

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年3月期2Q	14,783,900株	22年3月期	14,783,900株
② 期末自己株式数	23年3月期2Q	269株	22年3月期	196株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年3月期2Q	14,783,659株	22年3月期2Q	14,783,704株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期短信【添付資料】P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	3
2. その他の情報.....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要.....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要.....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要.....	3
3. 四半期連結財務諸表.....	4
(1) 四半期連結貸借対照表.....	4
(2) 四半期連結損益計算書.....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記.....	7
(4) セグメント情報.....	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益は改善しつつありますが、雇用環境の改善は遅れ、物価は緩やかなデフレ状況にあるなど、依然として厳しい状況が続いております。

当社グループが携わるパチンコ業界におきましては、個人消費の冷え込みの影響を受け、顧客であるパチンコホールの収益は依然厳しい状況が続いております。このようななか、パチスロ遊技機の業績は前年同期を上回り、安定した業績がホール経営企業から注目され、パチンコからパチスロへシフトする動きが始めました。一方、1円パチンコ等の低貸玉営業は全国的に浸透し、さらに差別化をはかる動きが見られました。

このような市場環境のなか、情報システム事業におきましては、パチスロ活性化に対して「BIGMO」や低貸玉営業における差別化の動きに対して「楽pass」などの店舗における活用提案を推進いたしました。

制御システム事業におきましては、物作りの改革を目指して開発業務の品質向上と効率を追求し、遊技機のソフト、ハードの企画提案に努めました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高165億10百万円（前年同期比44.0%減）、営業利益6億12百万円（同84.6%減）、経常利益6億82百万円（同83.6%減）、四半期純利益2億41百万円（同89.4%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(情報システム事業)

当事業の第2四半期連結累計期間は、MIRAI GATEネットワークを活用したホール経営を支援する窓口となる「CIIデスク」や迅速かつ的確なメンテナンスに対応するための「メンテナンスデスク」の価値を高め、ホールコンピューティングシステム「CII」の導入を提案いたしました。また、パチスロ活性化に対して、遊技機の楽しみを広げるコンテンツ表示や音声演出を加えた情報公開機器「BIGMO」や低貸玉営業における差別化の動きに対して、ファンの利便性向上を追及した台毎計数システム「楽pass」などの店舗における活用提案を推進し、MIRAI GATEネットワークの普及を進めました。しかし、新規出店等の大型の設備投資は引き続き低調でした。

この結果、売上高は113億79百万円（前年同期比16.7%減）、営業利益は19億54百万円（同30.6%減）となりました。

(制御システム事業)

当事業の第2四半期連結累計期間は、遊技機のソフト、ハードの企画提案に努めましたが、第2四半期に販売を予定しておりました機種が、第3四半期以降の販売となったため、販売台数が大幅に減少いたしました。

この結果、売上高は43億18百万円（前年同期比71.6%減）、営業損失は4億88百万円（同27億74百万円減）となりました。

(アミューズメントコンテンツ事業)

当事業の第2四半期連結累計期間は、コンシューマゲームにおいて、昨年、海外メーカーから受注したゲームソフトが高い評価を受けたことにより、開発受注が増えました。携帯コンテンツは、mixi向けに続き、Yahoo!モバゲーへも提供を始めました。

この結果、当事業の売上高は8億15百万円（前年同期比28.8%増）、営業利益は41百万円（同1億18百万円増）となりました。

(注) セグメントの業績の金額には、セグメント間取引が含まれております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、納税、配当の支払い等があったことにより、前連結会計年度末に比べ45億92百万円減少の450億49百万円となりました。

流動資産では、主に現金及び預金や売上債権が減少したことにより、前連結会計年度末に比べ54億94百万円減少の290億88百万円となりました。

固定資産では、主に設備投資により前連結会計年度末に比べ9億2百万円増加の159億60百万円となりました。

負債では、主に仕入債務や未払法人税等の減少により、前連結会計年度末に比べ39億39百万円減少の183億21百万円となりました。

純資産では、主に利益剰余金の減少により、前連結会計年度末に比べ6億52百万円減少の267億27百万円となりました。自己資本比率は前連結会計年度末に比べ4.1ポイント上昇の59.2%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の通期の業績予想につきましては、平成22年5月10日発表の業績予想に変更はありません。なお、業績等に影響を与える事業等のリスクについては、最近の有価証券報告書（平成22年6月30日提出）により開示を行った内容から重要な変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

・会計処理基準に関する事項の変更

「資産除去債務に関する会計基準」の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、営業利益及び経常利益は4,610千円、税金等調整前四半期純利益は34,225千円、それぞれ減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は、90,063千円であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期 連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,712,253	18,926,618
受取手形及び売掛金	6,314,198	9,738,583
有価証券	30,300	—
商品及び製品	3,532,105	3,320,901
仕掛品	274,590	509,642
原材料及び貯蔵品	2,126,213	1,516,614
繰延税金資産	26,473	248,915
その他	1,111,144	365,820
貸倒引当金	△38,902	△44,476
流動資産合計	29,088,376	34,582,619
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,937,304	2,956,016
土地	4,390,713	4,390,713
その他(純額)	1,800,246	1,253,874
有形固定資産合計	9,128,264	8,600,604
無形固定資産		
ソフトウェア	1,589,024	1,448,278
その他	38,482	39,177
無形固定資産合計	1,627,507	1,487,455
投資その他の資産		
投資不動産(純額)	898,456	904,932
繰延税金資産	1,926,702	1,488,728
長期預金	600,000	900,000
その他	1,992,416	1,890,976
貸倒引当金	△212,387	△213,962
投資その他の資産合計	5,205,188	4,970,674
固定資産合計	15,960,960	15,058,734
資産合計	45,049,336	49,641,354

(単位：千円)

	当第2四半期 連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,077,937	11,449,846
短期借入金	4,525,000	4,625,000
1年内返済予定の長期借入金	400,000	400,000
未払法人税等	609,411	1,838,347
役員賞与引当金	47,955	238,223
資産除去債務	14,000	—
その他	2,382,501	2,363,877
流動負債合計	17,056,806	20,915,294
固定負債		
長期借入金	600,000	800,000
退職給付引当金	100,602	69,908
役員退職慰労引当金	307,625	291,051
資産除去債務	76,796	—
その他	179,671	184,289
固定負債合計	1,264,695	1,345,248
負債合計	18,321,502	22,260,543
純資産の部		
株主資本		
資本金	674,000	674,000
資本剰余金	680,008	680,008
利益剰余金	25,327,148	25,973,100
自己株式	△585	△491
株主資本合計	26,680,571	27,326,617
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,133	4,621
評価・換算差額等合計	4,133	4,621
少数株主持分	43,129	49,571
純資産合計	26,727,834	27,380,811
負債純資産合計	45,049,336	49,641,354

(2) 四半期連結損益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	29,473,468	16,510,797
売上原価	20,077,534	10,698,380
売上総利益	9,395,933	5,812,417
延払販売未実現利益控除	—	—
延払販売未実現利益戻入	7,576	7,576
差引売上総利益	9,403,510	5,819,993
販売費及び一般管理費	5,414,863	5,207,233
営業利益	3,988,646	612,760
営業外収益		
受取利息	12,411	14,671
受取配当金	5,376	5,446
受取ロイヤリティー	40,409	31,145
不動産賃貸料	52,642	40,191
その他	130,181	29,767
営業外収益合計	241,022	121,222
営業外費用		
支払利息	32,924	24,283
その他	40,227	27,643
営業外費用合計	73,152	51,927
経常利益	4,156,516	682,056
特別利益		
固定資産売却益	—	1,666
貸倒引当金戻入額	4,120	3,915
その他	—	1,206
特別利益合計	4,120	6,788
特別損失		
固定資産売却損	9,830	4,235
固定資産除却損	12,268	18,374
貸倒引当金繰入額	17,350	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	29,615
その他	2,502	654
特別損失合計	41,951	52,879
税金等調整前四半期純利益	4,118,685	635,965
法人税、住民税及び事業税	1,816,265	593,906
法人税等調整額	30,153	△192,568
法人税等合計	1,846,419	401,337
少数株主損益調整前四半期純利益	—	234,628
少数株主損失(△)	△663	△6,441
四半期純利益	2,272,929	241,070

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

	情報システム事業 (千円)	制御システム事業 (千円)	アミューズメント コンテンツ事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1)外部顧客に対する 売上高	13,650,848	15,193,773	628,846	29,473,468	—	29,473,468
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,083	2,195	4,261	9,540	(9,540)	—
計	13,653,931	15,195,968	633,108	29,483,008	(9,540)	29,473,468
営業利益又は 営業損失(△)	2,816,475	2,285,923	△77,782	5,024,616	(1,035,970)	3,988,646

(注) 1 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各区分の主な製品

(1) 情報システム事業

ホールコンピュータ、景品顧客管理システム、情報公開システム、工事収入等

(2) 制御システム事業

表示ユニット、制御ユニット、遊技機に使用される部品等

(3) アミューズメントコンテンツ事業

アミューズメント関連ソフト等

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

在外連結子会社及び在外支店がないため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

【セグメント情報】

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、事業内容別のセグメントから構成されており、「情報システム事業」、「制御システム事業」及び「アミューズメントコンテンツ事業」の3つを報告セグメントとしております。

「情報システム事業」は、主にパチンコホール向けコンピュータシステム、景品顧客管理システム、情報公開システムの開発・製造・販売をしております。「制御システム事業」は、パチンコ遊技機用表示ユニット、制御ユニットの開発・製造・販売、パチスロ遊技機の企画・開発・製造・販売並びに遊技機に使用する部品の販売をしております。「アミューズメントコンテンツ事業」は、アミューズメントソフト及びアミューズメントコンテンツの企画・開発・販売をしております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	情報システム事業	制御システム事業	アミューズメント コンテンツ事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,377,661	4,317,825	815,310	16,510,797	—	16,510,797
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,189	361	—	2,551	△2,551	—
計	11,379,850	4,318,187	815,310	16,513,348	△2,551	16,510,797
セグメント利益又は セグメント損失(△)	1,954,552	△488,283	41,105	1,507,373	△894,613	612,760

(注) 1 セグメント利益の調整額△894,613千円には、セグメント間取引消去714千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△895,327千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。